

日本道德教育学会第107回(令和8年度春季)大会開催案内(第2次)

および大会参加等の申し込みについて

日本道德教育学会 会長 貝塚 茂樹
第107回大会運営委員長 小池 孝範
同 運営副委員長 頼住 光子

日本道德教育学会会員及び関係各位におかれましては、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび第107回(令和8年度春季)大会を駒澤大学(駒沢キャンパス)で開催させていただく運びとなりました。多くの会員の皆様の積極的な御参加をお待ちしております。

大会テーマ

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を生活の中に生かす道德教育

【大会テーマ設定の趣旨】

平成29・30・31年に改訂された現行の学習指導要領では、小学校、中学校、高等学校のいずれにおいても、「総則」に、道德教育を進めるにあたって「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かすことに留意」することが求められています。「人間尊重の精神」は、「道德の時間」が特設された昭和33年の学習指導要領改訂から一貫して目標として示され、「生命に対する畏敬の念」については、平成元年の学習指導要領改訂から目標に加えられています。平成27年の一部改正で目標の整理にともなって留意点に位置づけが変更されたものの、いずれも、道德教育において重要な位置を占め、また、両者は密接な関係を持っています。しかし、一方で、ある種の「扱いにくさ」、指導の難しさも指摘されてきました。

そこで、広く両者を含んだ「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念」を「具体的な生活の中に生かす」ということをテーマとし、理論と実践の両面から、本大会を通して会員の皆様と考え、議論したいと思えます。シンポジウムでは、「生命、崇高なもの」といった容易には「語りえないこと」について「考え語り合う」とはどういうことか、どんな実践が可能なのか、会員の皆様と検討してみたいと思えます。

【大会概要】

- 開催日：2026(令和8)年7月4日(土)・5日(日)
- 会場：駒澤大学(駒沢キャンパス)
- 主催：日本道德教育学会
- 後援：文部科学省(申請中)、東京都教育委員会(申請中)、全国小学校道德教育研究会
全日本中学校道德教育研究会、全国公民科・社会科教育研究会
- 参加費：会員・一般参加:4,000円/学部学生:2,000円
情報交換会費(会員のみ):5,500円
- 参加申込：日本道德教育学会のウェブサイトから、または下記URLのPeatix(ピーティックス)か
右下のQRコードより参加申し込みをして下さい。<https://peatix.com/event/4971108/view>
大会参加申し込みは**5月1日(金)12:00~6月20日(土)17:00**までとなります。事前申し込み
に御協力下さい。なお、原則的に大会当日の参加申し込みはできません。
- 大会事務局：駒澤大学 総合教育研究部 小池孝範研究室内
〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1丁目23番1号
Email: [jsme107komazawa@gmail.com](mailto:j sme107komazawa@gmail.com)

問い合わせは原則としてメールにてお願いいたします。



大会日程

大会 1 日目 2026(令和8)年7月4日(土)	
9:00~	大会参加受付 【 3号館 8階 エントランスホール 】
10:00~12:30	ラウンドテーブル(8部会) 【 3号館 7階 3-701~704、8階3-809~812 各教場 】
12:30~13:50	昼食・休憩
13:50~14:05	開会行事 【 1号館3階 1-301教場 】
14:10~15:10	基調講演: 貝塚茂樹(日本道德教育学会会長 / 武蔵野大学教授) 演 題 「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を生活の中に生かす道德教育」 【 1号館3階 1-301教場 】
15:30~17:10	自由研究発表①(6部会) (各発表:発表 20分、質疑 10分) 【 3号館7階 3-701・702、8階 3-809~812 各教場 】
17:30~19:30	情報交換会 【 3号館1階 食堂1 】
大会 2 日目 2026(令和8)年7月5日(日)	
8:30~	2 日目受付 【 3号館 8階 エントランスホール 】
9:00~11:50	自由研究発表②(8部会) (各発表:発表 20分、質疑 10分) 【 3号館 7階 3-701~704、8階 3-809~812 各教場 】
11:50~13:00	昼食・休憩
13:00~14:00	会員総会 【 1号館3階 1-301教場 】
14:10~16:20	シンポジウム: テーマ 「語りえないこと」を語り合う授業とは ——生命、崇高なものの学びを考える—— 【1号館3階 1-301教場 】 コーディネーター: 澤田浩一(國學院大學教授) シンポジスト 彦阪聖子(大阪府堺市立市小学校教諭):小学校道德教育実践者の立場から 山本智也(筑波大附属駒場中高教諭):中学校道德教育実践者の立場から 荊木 聡(京都産業大学教授):道德教育研究者の立場から 山田圭一(千葉大学教授):西洋現代哲学研究者の立場から 頼住光子(駒澤大学教授):日本倫理思想研究者の立場から
16:20~16:30	閉会行事 【 1号館 3階 1-301教場 】

【 2026(令和8)年7月4日(土)】

■ ラウンドテーブル (10:00~12:30)

【会場：3号館 7階701~704、8階 809~812】

第1部会

【3号館8階 3-809 教場】

テーマ 道徳科の実装をどう進めればよいのか

企画者： 田沼 茂紀 (國學院大學・名)

報告者： 梅澤 正輝 (東京都杉並区立桃井第三小学校) 治田 和也 (千葉県流山市立おおぐろの森小学校)

田屋 裕貴 (神奈川県相模原市立旭小学校) 園山 久美子 (神奈川県横浜市立樽町中学校)

指定討論者：尾崎 正美 (岡山県瀬戸内市立国府小学校) 及川 仁美 (岩手県盛岡市立厨川中学校)

第2部会

【3号館8階 3-810 教場】

テーマ 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を生活の中に生かす道徳教育の具体的展開

—児童の実態・発達段階・発達の特徴を踏まえた「生命の尊さ」の授業づくり—

企画者： 齋藤 道子 (目白大学)

司会者： 齋藤 道子 (目白大学)

報告者： 齋藤 道子 (目白大学) 清水 勝平 (茨城県つくば市立島名小学校)

木下 美紀 (福岡県福津市立福間小学校) 池堂 正伸 (東京都葛飾区立細田小学校)

齋藤 大地 (宇都宮大学)

指定討論者：押谷 由夫 (昭和女子大学・名)

第3部会

【3号館8階 3-811 教場】

テーマ 子どもの心が動くとき、道徳科の学びはどのように深まっていくのか？—子どもが感じたことを契機に心が動くとき—

企画者： 松原 好広 (麗澤大学大学院)

司会者： 松原 好広 (麗澤大学大学院)

報告者： 大谷 秋音 (東京都渋谷区立松濤中学校) 石川 寛 (栃木県宇都宮市立泉が丘中学校)

清水 美津子 (埼玉県幸手市立幸手中学校)

指定討論者：鈴木 邦夫 (麗澤大学大学院)

第4部会

【3号館8階 3-812 教室】

テーマ 感知融合の道徳教育—生命に対する畏敬の念と家族倫理を中心に—

企画者： 高橋 史朗 (麗澤大学)

司会者： 江崎 圭伊子 (神奈川県川崎市立小学校・元教頭)

報告者： 山崎 敏哉 (東京都世田谷区立山崎小学校) 萩原 ゆかり (埼玉県さいたま市立辻小学校)

指定討論者：緒賀 正浩 (明星大学・非) 早田 保美 (神奈川県川崎市立栗木台小学校)

寺澤 玲子 (認定産後ドゥーラ)

第5部会

【3号館7階 3-701 教室】

テーマ 幼児期における道徳性、共生性の育成—食育教材の工夫を通して—

企画者： 鍵水 浩 (旭川市立大学)

司会者： 鍵水 浩 (旭川市立大学)

報告者： 齊藤 実春 (群馬県前橋市立六供保育所) 手塚 貴子 (新潟県燕市子ども遊戯施設「ハレラテつばめ」)

指定討論者：望月 文代 (育英大学)

第6部会

【3号館7階 3-702教室】

テーマ 道徳科授業におけるアバター導入の試みと検討

企画者： 天野 幸輔（名古屋学院大学）

司会者： 天野 幸輔（名古屋学院大学）

報告者： 小林 溪太（福井大学） 天野 幸輔（名古屋学院大学）
笠井 善亮（千葉県教育庁東葛飾教育事務所）

指定討論者：走井 洋一（立教大学）

第7部会

【3号館7階 3-703教室】

テーマ 主体的な生き方を探求する子どもの道徳学習をつくる—「畏敬の念」はなぜ「自分事」となりにくいのか—

企画者： 幸阪 創平（東京学芸大学附属竹早小学校）

司会者： 和井内 良樹（宇都宮大学）

報告者： 古見 豪基（埼玉県和光市立第四小学校） 佐藤 淳一（東京都町田市立相原小学校）
久我 隆一（東京都調布市立上ノ原小学校） 杉山 正磨（東京都武蔵野市立千川小学校）
岡山 貴洋（東京都小平市立上宿小学校）

指定討論者：永田 繁雄（東京学芸大学） 星 直樹（東京学芸大学・非）

第8部会

【3号館7階 3-704教室】

テーマ 「考え、議論する道徳」の理論と指導法—理念の再検討と学校現場への実装を目指して—

企画者： 柳沼 良太（岐阜大学）

司会者： 柳沼 良太（岐阜大学）

報告者： 尾崎 雅斗（愛知県名古屋市立御器所小学校） 木野 正一郎（環太平洋大学）
萩野 奈幹（國學院大學） 和田 誠司（東海学院大学）
柳沼 良太（岐阜大学）

■ 開会行事(13:50~14:05)

【会場:1号館3階 1-301教場】

■

- 1 会長挨拶 貝塚 茂樹 (日本道德教育学会会長)
- 2 開催校挨拶 兼村 栄哲 (駒澤大学副学長)
- 3 大会運営委員長挨拶 小池 孝範 (駒澤大学)

■ 基調講演(14:10~15:10)

【会場:1号館3階 1-301教場】

貝塚 茂樹 (日本道德教育学会会長 / 武蔵野大学教授)

演題 「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を生活の中に生かす道德教育」

■ 自由研究発表①(15:30~17:10)

【会場:3号館7階 3-701・702、8階 3-809~812】

(各発表:発表20分、質疑10分)

第1分科会

司会: 和井内 良樹(宇都宮大学)

【3号館8階 3-809教場】

15:30~16:00

中野 真悟(福島大学)

教職課程の学生が各教科等と関連付けて作成する指導計画の傾向

16:05~16:35

張 夢溪(名古屋大学・院生)

戦後日本における道德教育の内容の曖昧化構造に関する考察—公德心教育を手がかりとして—

16:40~17:10

○天野 幸輔(名古屋学院大学) / 笠井 善亮(千葉県教育庁東葛飾教育事務所) / 小林 溪太(福井大学)

日本人学校における道德科の授業実践をめぐる諸問題—へき地校との相違点と授業方法の検討—

第2分科会

司会: 荒木 寿友(立命館大学)

【3号館8階 3-810教場】

15:30~16:00

由良 健一(奈良女子大学附属小学校)

道德科における子どものめあて設定が自律的な学びと価値理解に及ぼす影響—めあてとふりかえりの連動を通して—

16:05~16:35

○平 真由子(金沢工業大学) / 日向 正志(金沢工業大学)

道德科における学習経験は将来展望意識と心理的ウェルビーイングにどのように関わるか

16:40~17:10

尾崎 雅斗(愛知県名古屋市立御器所小学校)

段階的にねらいに迫る学級経営と道德科の授業の連動—自分のよいところに気付き、伸ばしていこうとする子どもの育成—

第3分科会

司会: 毛内 嘉威(秋田公立美術大学)

【3号館8階 3-811教場】

15:30~16:00

矢作 信行(帝京平成大学・非)

これからの道德教育を創造する—生成AIや仮想空間を活用した道德科授業の開発—

16:05~16:35

庄司 真樹(東京学芸大学附属大泉小学校)

道德科の授業で生成AI導入が促進する資質、能力

16:40~17:10

○小山 久子(昭和女子大学 現代教育研究所) / 押谷 由夫(昭和女子大学・名)

道德科授業の見取りに関する研究—ローカルLLMは、どこまで見取りを支援できるか—

第4分科会

司会：堀田 竜次(国立教育政策研究所)

【3号館8階 3-812 教場】

15:30~16:00

杉浦 浩(兵庫県神戸市立多聞の丘小学校)

構成的グループエンカウンターによる畏敬の念の涵養に関する実践的研究—特別支援学級における継続的な道徳実践とウルトラマン「ジャミラ」を教材とした体験的な学習の検討—

16:05~16:35

塩家 崇生(帝塚山大学)

演劇的手法を用いた道徳科授業における教師の即興的ファシリテーション—子どもの姿を問いと気づきに変換する5年間の実践分析—

16:40~17:10

土田 雄一(敬愛大学)

大学生による道徳創作劇を活用した授業の効果

第5分科会

司会：森 有希(高知大学)

【3号館7階 3-701 教場】

15:30~16:00

安井 政樹(札幌国際大学)

「R7 版中学校『特別の教科 道徳』教科書」に関する一考察

16:05~16:35

○木崎 ちのぶ(昭和女子大学 現代教育研究所) / 谷山 優子(神戸女子大学)

「特別の教科 道徳」の教科書(中学校)分析—学校(教員)と家庭(保護者)のアンケート調査から—

16:40~17:10

毛 月(広島大学 ダイバーシティ&インクルージョン推進機構)

障害のある子どもと共に学ぶための道徳教育に関する基礎的研究—小学校道徳科教科書の分析を通して—

第6分科会

司会：江島 顕一(麗澤大学)

【3号館7階 3-702 教場】

15:30~16:00

佐藤 郷美(東北福祉大学)

道徳科における授業公開の意義の検討

16:05~16:35

山本 理恵(千葉県山武市立山武北小学校)

" shadowing 道徳 " を通した若年経験者教師の授業改善への思考構造—若年経験者教師が熟達教師を追った道徳科の独自モデルから—

16:40~17:10

○真壁 佑輔(北海道札幌市立上野幌中学校) / 根岸 良久(北海道札幌市立茨戸小学校) / 安井 政樹(札幌国際大学)

道徳科におけるICTを活用した新たな授業分析手法の提案—アプリ「カッシート」による「構造化シート」作成の試みと教員の評価—

【 2026(令和8)年7月5日(日) 】

■ 自由研究発表②(9:00~11:50) 【会場：3号館3階 3-701~704、8階 3-809~812】
(各発表:発表20分、質疑10分)

第7分科会

司会：高宮 正貴（武蔵野大学）

【 3号館8階 3-809 教場 】

9:00~9:30 佐々木 哲哉（岩手大学・非）

道德思想における「畏敬の念」の研究—理性の限界から見た形而上学的考察—

9:35~10:05 尾崎 恭一（公益社団法人アムネスティ・インターナショナル・日本）

死刑廃止の倫理—その道德性と現実性—

10:10~10:40 弘田 敏基（同志社国際中学校・高等学校・非）

フッサールの倫理学と道德教育

10:45~11:15 安部 孝（名古屋芸術大学）

道德教育を仏教思想から検討する3—疑うことの意味—価値とのかかわり—

11:20~11:50 寺崎 賢一（元・都留文科大学・非）

道德学（モラル）を人間に適用するには、つねに人間学が必要である—イメヌエル・カント—

第8分科会

司会：中野 啓明（新潟青陵大学）

【 3号館8階 3-810 教場 】

9:00~9:30 小濱 聖子（電気通信大学・非）

近世日本における道德教育—教材からの学習をめぐる—

9:35~10:05 須賀 知宏（埼玉県さいたま市立宮原小学校）

初期「道德の時間」にみる社会性育成の論理—森昭の理論と授業実践の往還に着目して—

10:10~10:40 山田 美香（名古屋市立大学）

香港の道德教育の変化

10:45~11:15 萩野 奈幹（國學院大學）

「考え、議論する道德」の実装に向けた道德授業の実践開発—ノディングズのケアリングにおける批判的思考をもとに—

11:20~11:50 ○田中 健一（星槎国際高等学校・非） / 前岩 範正（東京都国立市立第六小学校）

牧口常三郎の価値創造型の学習指導過程を基に畏敬の念を生活に生かす—道德科の授業実践を通して—

第9分科会

司会：浅見 哲也（十文字学園女子大学）

【 3号館8階 3-811 教場 】

9:00~9:30 那倉 康知（兵庫教育大学）

「考え、議論する」道德について—授業実践を踏まえた提案—

9:35~10:05 佐藤 淳一（東京都町田市立相原小学校）

子どもが考え、話し合いたくなる発問とは—教材吟味と発問の選択—

10:10~10:40 鈴木 賢一（愛知県弥富市立十四山東部小学校）

道德の授業づくりにおけるAI活用の可能性と課題—教師の意思決定との関係から—

10:45~11:15 佐藤 皓（新潟県上越市立城東中学校）

中学校道德科における「考え、議論する道德」の実現に向けた授業デザイン—多様な意見を引き出し、子ども同士の対話を生み出す指導上の工夫—

11:20~11:50 和田 誠司 (東海学院大学)
自己調整学習とエージェントを軸とした「動的更新」の授業デザイン—「考え、議論する道徳」
の実装に向けた「道徳科 AX」の提唱—

第10分科会

司会：植田 和也 (香川大学)

【3号館8階 3-812教場】

- 9:00~9:30 久保木 壮平 (福島大学・院生)
自己を見つめる道徳科を要として、子どもがよりよい自分を創る道徳教育—単元的な道徳学習の
実践を通して—
- 9:35~10:05 清水 勝平 (茨城県つくば市立島名小学校)
主体的に生き方を考え、道徳的実践を目指す道徳教育の研究—ラーニング・プロセスマップ型
道徳教育の指導法を通して—
- 10:10~10:40 佐々木 樂音 (神奈川県横浜市立みなとみらい本町小学校)
単元的な哲学対話による道徳授業の実践—児童の思考の揺らぎに着目して—
- 10:45~11:15 谷口 雄一 (摂南大学)
「人間尊重の精神」と主体的価値観形成—「幸せ」についての単元学習を通して—
- 11:20~11:50 ○磯部 一雄 (立命館慶祥中学校・高等学校) / 近野 秀樹 (立命館慶祥中学校・高等学校) /
仲井 義人 (和歌山県紀の川市立粉河中学校) / 杉中 康平 (四天王寺大学)
教材の特質を活かした道徳科授業のあり方—「ing」の学びに基づいた「パッケージ型授業」の
実践—

第11分科会

司会：椋木 香子 (宮崎大学)

【3号館7階 3-701教場】

- 9:00~9:30 齋藤 道子 (目白大学)
子供の実態に応じた道徳教育及び道徳科の効果的な指導方法—第1学年の実践事例を通して—
- 9:35~10:05 星 美由紀 (福島県郡山市立郡山第三中学校)
痛みと再生の記憶を未来へ繋ぐ道徳教育の挑戦—楽曲『クスノキ』を核とした「生命に対する畏敬
の念」を生活に生かす教科横断的実践—
- 10:10~10:40 末永 琢也 (高知大学)
子どもの市民性を育成する道徳科・社会科横断型授業デザイン—社会問題が生み出す倫理的問題
を事例として—
- 10:45~11:15 居林 晃一郎 (京都府京都市立川岡小学校)
川岡小学校 カリキュラム・マネジメント コアプログラム&プラン—学校教育目標に向かって、
キャリア教育の推進を図るために—

第12分科会

司会：白木 みどり (金沢工業大学)

【3号館7階 3-702教場】

- 9:00~9:30 山田 将之 (岩手県盛岡市立上田中学校)
道徳科の学習における判断の改善
- 9:35~10:05 幸阪 創平 (東京学芸大学附属竹早小学校)
現代的課題を扱う道徳科における共学型 AI エージェント「Saya」を媒介とした対話設計—児童
の道徳的判断の形成過程における対話の変容に着目して—
- 10:10~10:40 五十嵐 正広 (東邦大学・非)
横断的な学習における道徳科の役割を探る—総合的な学習 (防災) と道徳科の連携を踏まえて—
- 10:45~11:15 坂口 幸恵 (東京栄養食糧専門学校・非)
現代的な課題を追究する道徳科の事例研究—アレルギー対応についての取組—

11:20~11:50 山田 貞二 (岐阜聖徳学園大学)

現代的な課題におけるゲストの役割と生徒の葛藤に関する実践的研究—臓器移植を題材とした授業を通して—

第13分科会

司会：島 恒生 (畿央大学)

【 3号館7階 3-703教場 】

9:00~9:30 ○ 範 蘭心 (東京学芸大学・非) / 山敷 真央 (東京学芸大学・非)

現行版小・中学校道徳教科書の傾向分析—内容項目、道徳性の観点、掲載教材等に着眼して—

9:35~10:05 長谷川 元洋 (金城学院大学)

教科書に収録されている情報モラル教材の分析

10:10~10:40 片山 峻河 (開智所沢小学校)

絶滅危惧種の学習を通して責任ある行動への意識を育む小学校3年生の授業実践

10:45~11:15 ○ 今村 文香 (静岡県静岡市立清水江尻小学校) / 掛本 健太 (愛知教育大学) / 村田 翔 (静岡県立焼津中央高等学校) / 松永 しのぶ (静岡県静岡市立静岡看護専門学校) / 中村 美智太郎 (静岡大学)

双六教材を用いた「考え、議論する道徳」のプログラム開発—小学校道徳科における実践分析—

第14分科会

司会：渡邊 真魚 (日本大学)

【 3号館7階 3-704教場 】

9:00~9:30 植村 洋司 (全国連合小学校長会顧問)

道徳教育に対する現状認識と課題意識、これからへの期待—全国の小学校長対象調査の結果から—

9:35~10:05 阪本 景子 (愛知県東海市立名和中学校)

配慮を要する生徒の道徳科授業における心理的安全性の構築と学習効果の検討

10:10~10:40 古見 豪基 (埼玉県和光市立第四小学校)

SELの視点を取り入れた道徳科授業の実践と評価—小3におけるプルチックシートを用いた感情の可視化と、SCATおよびSEL-8N・自尊感情尺度の変容に伴う多角的考察—

10:45~11:15 ○ 清水 顕人 (香川大学) / 岡根 平 (香川大学教育学部附属坂出小学校)

小学校道徳科における児童の自己評価と道徳性の関係に関する研究—ICTを活用した自己評価の蓄積と道徳性アセスメント HUMAN の比較から—

■ 総会(13:00~14:00)

【 会場:1号館3階 1-301教場 】

■ シンポジウム(14:10~16:20)

【 会場:1号館3階 1-301教場 】

テーマ「語りえないこと」を語り合う授業とは——生命、崇高なものの学びを考える——

コーディネーター：澤田 浩一(國學院大学)

シンポジスト

彦阪 聖子(堺市立市小学校教諭):小学校道徳教育実践者の立場から

山本 智也(筑波大附属駒場中高教諭):中学校道徳教育実践者の立場から

荊木 聡(京都産業大学教授):道徳教育研究者の立場から

山田 圭一(千葉大学教授):西洋現代哲学研究者の立場から

頼住 光子(駒澤大学教授):日本倫理思想研究者の立場から

■ 閉会行事(16:20~16:30)

【 会場:1号館3階 1-301教場 】

次回開催校挨拶 荒木 寿友 (日本道徳教育学会第108回大会運営委員長)

副会長挨拶 島 恒生 (日本道徳教育学会副会長)

会場までのアクセス

■電車でのアクセス

東急田園都市線「駒沢大学」駅を下車、徒歩 10 分

東急田園都市線「桜新町」駅を下車、徒歩 20 分

■バスでのアクセス

○「渋谷」駅 (JR 山手線・東急田園都市線等) より

東急バス「渋 82 系統 等々力行き (23 番乗り場)」から「駒沢」停留所を下車、徒歩 1 分

○「二子玉川」駅 (東急田園都市線) より

東急バス「玉 12 系統 駒沢大学駅行き (1 番乗り場)」から「駒沢」停留所を下車、徒歩 4 分

■駒沢大学駅からのルート

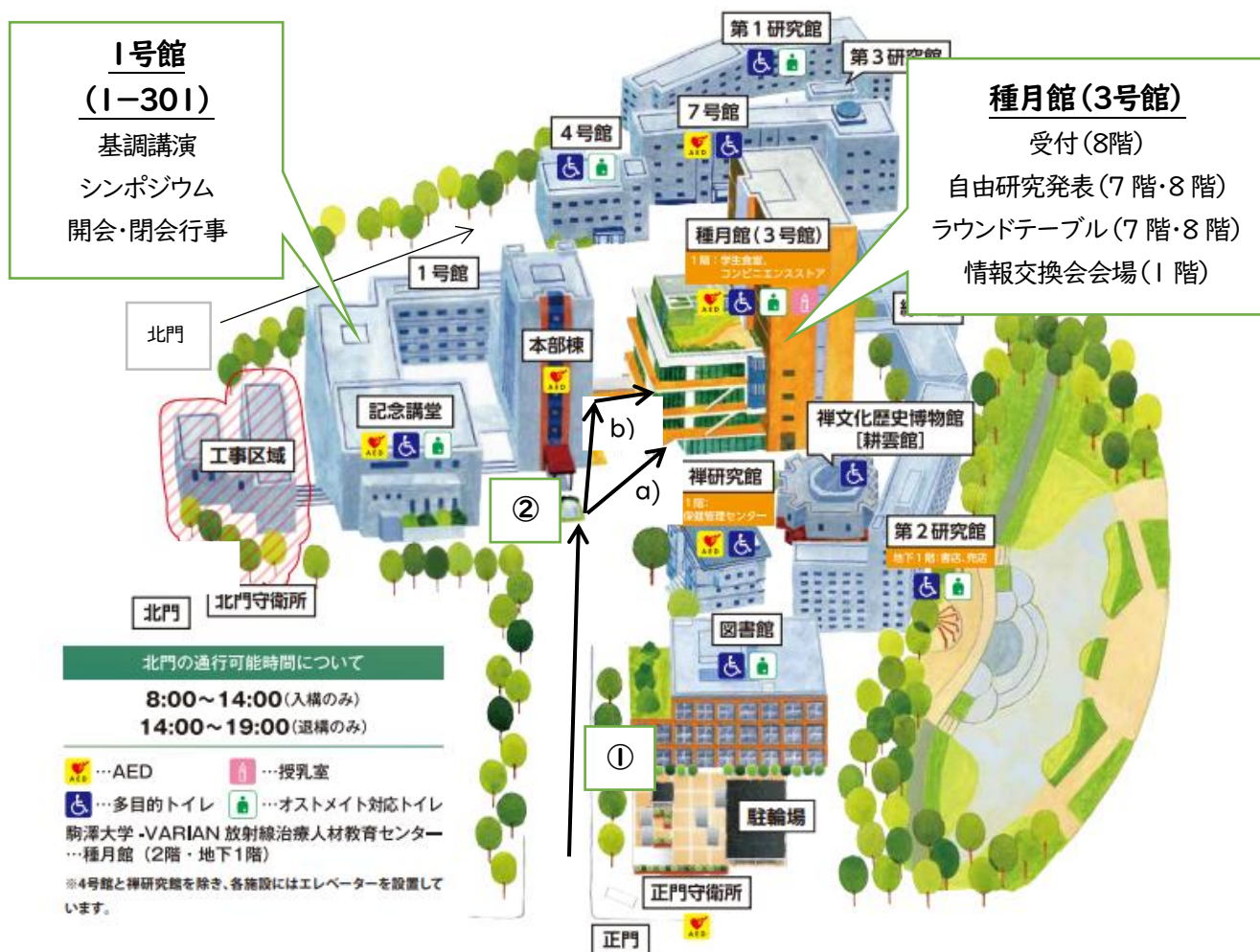


○大会1日目(7月4日・土)は、北門からの入退場が可能です。ただし、8時から14時は入構専用、14時から19時は退構専用となります。また、教職員・学生用の通用門となりますので、案内等はありません。構内の経路について不安のある方は正門よりお入り下さい。

○大会2日目(7月5日・日)は正門からのみ入構できます。

○大会1日目は授業日となっております。時間帯によっては駅からの経路が混雑しますので、時間に余裕をもっておいで下さい。

■大学構内図



○受付は種月館(3号館、茶色の外壁の一番大きい建物)の8階となります。エスカレーター、またはエレベーターを御利用下さい。

○3号館(種月館)への経路

- ①正門を入り、まっすぐお進み下さい。
- ②本部棟(車寄せのある建物)に突き当たったら、
 - a)右に曲がると左手前にセブンイレブンの看板が見えます。その隣が **3号館1階入口** です。
 - b)坂を下りず、まっすぐ本部棟の脇を通って進むと、3号館への渡り廊下が見えます。渡っていただくと **3号館2階入口** です。いずれかの入口が便利です。

※北門から入構した場合は1号館の裏手に出ます。こちらに案内はありません。

○喫煙所は4号館屋上1箇所となります。

大会への参加に当って

■申し込み方法

日本道德教育学会のウェブサイトから、あるいは下記 URL の Peatix (ピーティックス) か右の QR コードより参加申し込みをして下さい。 <https://peatix.com/event/4971108/view>

大会参加申し込み期限は 6月20日(土)17:00 となります。

なお、大会当日の参加申し込みはできません。事前申し込みに御協力下さい。



■宿泊先について

宿泊先についての斡旋、紹介は行っておりません。会員各自で手配して下さいますようお願いいたします。

■昼食について

昼食については両日とも弁当等の手配はいたしません。会員各自で手配して下さいますようお願いいたします。

大会1日目(7月4日)は種月館(3号館)1階の食堂、コンビニエンスストアも御利用いただけます。大会2日目(7月5日)は食堂、コンビニエンスストアは営業しておりません。近隣の飲食店、コンビニエンスストア等を御利用下さい。

■大会受付

7月4日(土)は9時00分から、種月館(3号館)8階エントランスホールで受付を行ないます。ネックストラップの参加証をお受け取り下さい。参加証には参加費等の領収証も入っています。7月5日(日)は8時30分から、同エントランスホールで受付を行って下さい。

■自由研究発表及びラウンドテーブルの会場の設備

パソコンを使用する場合は、各自で御持参下さい。全会場とも、接続は HDMI・RGB 接続の利用が可能です。変換アダプタ等は各自で御用意下さい。なお、学内の無線 LAN (Wi-Fi) は、学外の方は利用できません。御注意下さい。

■発表用資料

発表用資料は、各自で御用意下さい。

■その他

大会期間中は、クローク等は設置しません。基本的には、荷物は各自で管理するようお願いいたします。

会場に駐車場は用意しておりません。自家用車(2輪車含む)の御利用は御遠慮下さい。公共交通機関を御利用下さい。